

草津市認知症施策アクション・プラン
第 4 期計画策定について

今年度第2回会議（令和5年7月25日（火）開催）で、事務局から「草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画」計画案を提示し、委員の皆さまから御意見をいただきました。

その内容を事務局で取りまとめ、広く市民からも御意見を頂戴するために、令和6年1月5日（金）から2月5日（月）までパブリックコメントを実施しました。

本日、パブリックコメントの結果を共有し、「草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画（案）」の最終版を報告します。

実施期間

令和6年1月5日（金）～2月5日（月）※当日消印有効



閲覧先

草津市役所（長寿いきがい課／情報公開室）／図書館／南草津図書館／長寿の郷ロクハ荘／なごみの郷／草津市社会福祉協議会（キラリエ草津4階）／各地域包括支援センター／市ホームページ

意見の提出方法

長寿いきがい課窓口に直接提出／郵送／ファクス／Eメール

パブリックコメントの実施結果について

【計画案の閲覧者数】

10人

(内訳)

- ・ 地域包括支援センター 3人
- ・ 長寿の郷ロクハ荘 7人

【市ホームページアクセス数】

75件

【意見者数】

0人

【意見総数】

0件



草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画案（概要）

「認知症の人とその家族の視点の尊重」を基礎として、認知症の人およびその家族が安心して生活できるまちの実現に向けて、5つの基本目標を掲げています。

認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発

認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

認知症の予防等の取組

医療・介護等の支援体制づくりの推進

認知症の人およびその家族への支援

草津市認知症があっても安心なまちづくり条例の理念の実現等に向けて取り組む必要があることから、基本目標については、第3期計画の考え方を継承することとします。

草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画

新規事業（予定）

✦✦ NEW ✦✦ チームオレンジの推進

チームオレンジとは…

認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族のニーズに応じて具体的な支援につなげる仕組みを地域ごとに構築するものです。

また、チームオレンジは、認知症本人とともに、地域の社会資源を活かしたインフォーマルな支え合いの仕組みづくりを行う一つ的手段であることから、地域の本人や家族のニーズ、社会資源の状況に応じて、多様な形が考えられます。

◆ 内容 ◆

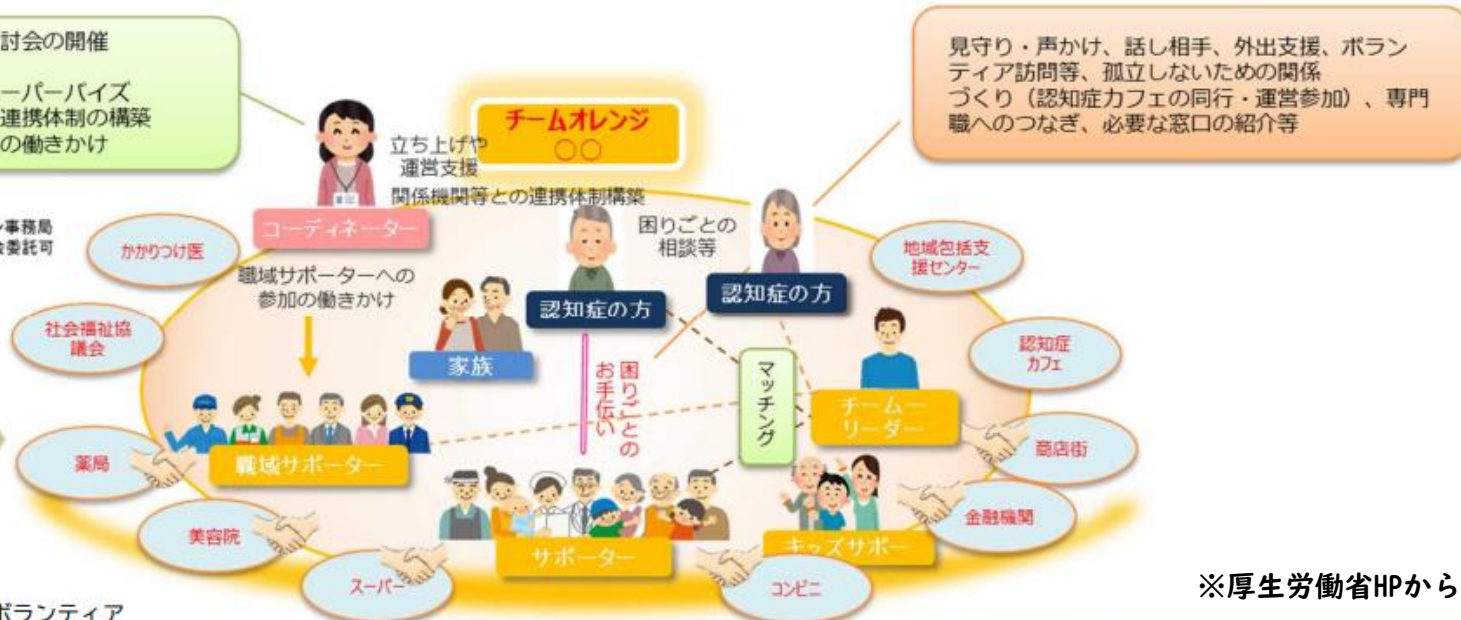
チームオレンジは地域の実情に応じた形態となることから、本市において認知症の人の悩みや、家族の身近な生活支援ニーズ等に対応できるような仕組みづくり（チームオレンジ）を検討し、チームオレンジのあり方を考え、活動の具体化を図ります。



イメージ

- ・仕組みづくりに関する検討会の開催
- ・チームの立ち上げ支援
- ・チームの運営に対するスーパーバイズ
- ・地域の企業や事業者との連携体制の構築
- ・職域サポーターへの参加の働きかけ

【ステップアップ実施主体】
 ●市町村認知症サポーターキャラバン事務局
 ●市町村キャラバン・メイト連絡協議会委託可
 (ステップアップ研修)



※厚生労働省HPから引用

※チームオレンジによる支援はボランティアで行うことが望ましい。(地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保のためのボランティアポイントの仕組みの活用も可能)

チームオレンジ三つの基本

- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
- ②認知症の方もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しするとともに、認知症サポーターの更なる活躍の場を整備

草津市ならではの
 チームオレンジの設置を検討します



草津市認知症施策アクション・プラン第4期計画

新規事業（予定）

◆ NEW ◆ 本人ミーティングの推進

本人ミーティングとは…

本人ミーティングは、認知症本人が自ら参加することで、本人同士が出会い、つながるとともに、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らしや地域のあり方を一緒に話し合う場です。

◆ 内容 ◆

認知症の本人同士が気軽に語り合える機会を創出することにより、本人同士の繋がりを深め、住み慣れた地域でよりよく暮らし続けることを目指します。

令和4年度第2回会議において、認知症本人ミーティングに係る協議を行いました。
令和6年度には、さらに議論を深め、草津市での実施に向けた検討を行いたいと思います。

～令和4年度第2回会議における主な意見～

- ・認知症カフェを活用してはどうか。
- ・デイサービスに通っている認知症の方向何人かで集まってみてスタートさせてみてはどうか。
- ・食事ができるといったような「目的」のある場所にしてはどうか。

